

校種・学年・教科等名 中学校・2年・社会科
実践名：「ネットワークの公共性を意識して行動する」

中学校第2学年社会科（地理的分野）学習指導案

日 時：平成23年 月 日（ ）

場 所：山鹿市立鹿本中学校 2年 組教室

授業者：教諭 佐渡 絢子

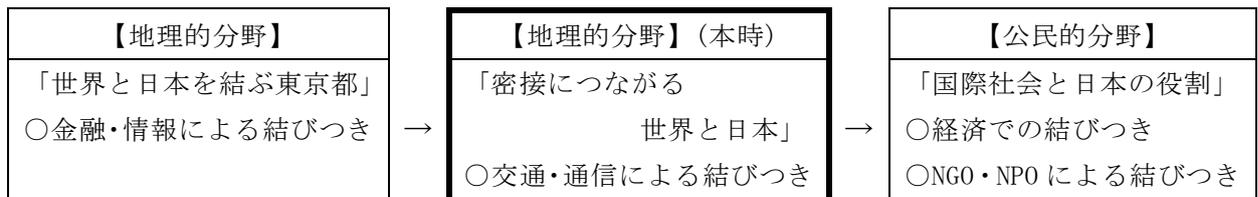
1 単元名 「広がる地域間の結びつき」（東京書籍 p 196～207）

2 単元について

(1) 近年、航空交通の発達により、目的地までの時間距離が短くなり、このことがものや人の移動を容易にした。また、海底ケーブルや人工衛星が世界各地を結び、リアルタイムで世界中の情報がやりとりされる。最近では、携帯電話や情報通信機器が小型で手に入りやすくなり、中学生でさえ世界中の情報をすばやく手に入れられる世の中となった。このように、様々な場面でグローバル化が進み、世界各国との結びつきが強くなってきた。

本単元は、世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げることを通して、我が国の国土の特色を「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の4つの点から大観させることをねらいとしている。そのため、日本国内の地域的特色を考えるにあたっては、他国との比較や世界的な視野から考察するのに有効である。

(2) 本単元の系統は以下のとおりである。



1年時の「世界と日本を結ぶ東京都」では、金融、情報の視点から、比較したり関連づけたりしながら、首都東京と世界の主要都市との結びつきについて学んだ。その学習を生かして、今単元では、交通・貿易・通信・人々の移動といった視点から、世界と日本の結びつきをとらえる学習を通して、日本の地域的特色についての理解を深める。3年時には、1・2年時の学習を生かし、国際協調の観点から、現在そして将来の世界と日本の結びつきのあり方について学習する。

(3) 生徒の実態は以下のとおりである。（在籍数39人）

本学級は、男子21人、女子18人、計39人で明るく元気な学級である。授業中の発言は多いが、挙手をして発表する生徒は限られており、わかっているが発表できない生徒もいる。グループ学習における話し合い活動では、班長を中心に全員が自分の意見を発言し、スムーズに進行することができる。しかし、お互いの違いを認め合ったり、友達の意見を参考に考えを深めたりすることは苦手としており、課題もある。

社会科の学習においては、1年時に比べると、グラフから数の増減を読み取ったり、資

料から気づきを述べたりする生徒が多くなってきた。しかし、読み取ったことをもとに、社会的事象を説明したり、考察したりすることには苦手意識がある。

また、情報に関する授業を行うにあたっての事前アンケートの結果は以下のとおりである。

(1) あなたは主に何によって社会の情報を得ていますか。	テレビ パソコン インターネット 携帯電話 新聞・雑誌	〇〇人 〇〇人 〇〇人 〇〇人 〇〇人
(2) (1) の他にどのような情報手段がありますか。	ラジオ パソコン 新聞・雑誌	〇〇人 〇〇人 〇〇人
(3) (1) の中であなたにとって、一番有効な情報ツールだと思うものは何ですか。また、その理由は何ですか。	テレビ 身近にあるから すぐ見られるから パソコン いつでも情報を得ることができるから	〇〇人 〇〇人 〇〇人 〇〇人 〇〇人
(4) 世界の中で通信網の発達が進んでいる国・地域はどこだと思いますか。	アメリカ 日本 中国 ヨーロッパ その他	〇〇人 〇〇人 〇〇人 〇〇人 〇〇人
(5) 世界の中で通信網の発達が遅れている国・地域はどこだと思いますか。	アフリカ エジプト アジア(カンボジア・アフガニスタン等) その他	〇〇人 〇〇人 〇〇人 〇〇人

生徒はさまざまな情報ツールから日頃多くの情報を受け取っていることは自覚している。しかし、調べ学習などで、多数の情報ツールから最も適したものを判断したり、情報の内容の量や質を選別したりすることは苦手としている。また、通信網に地域格差があることはなんとなくイメージしているが、根拠に基づくものではない。一方的に情報を受け取るだけでなく、地域格差などそれぞれの情報ツールの特色をよく理解した上で、どの情報ツールを活用すべきか判断する力や心構えを身につけさせる必要がある。

(4) 指導にあたっては次の点に留意する。

① 社会科教育の視点から

ア 本単元では、2つの異なる地域に情報を伝える手段として何を活用するのがふさわしいかを話し合う活動を通して、日本と世界各地の結びつきには地域格差があることを理解できるようにする。

イ 通信網は地域格差や時間や方法が時代とともに変化していくことから、状況に応じて情報ツールを選ぶ必要があることをおさえる。

ウ 資料から読み取ったことをもとに、社会的事象について説明する活動を取り入れる。複数の資料から根拠となる事象が読み取れる資料を厳選し、根拠をもとに説明する活動を通して、判断力を高める。

② 情報モラル教育の視点から

ア 本時は「モデルカリキュラム」の目標「5. 公共的なネットワーク社会の構築」、
「i 4-1: ネットワークの公共性を意識して行動する」との関連を重視して展開す

る。

イ 情報モラルの内容の取り上げ方については、情報ツールについて調べ、比較する活動を通して、与えられる情報を全て受け入れるのではなく、情報ツールを選択しようとする態度を育てることに着目して指導を行う。

③ 人権教育の視点から

ア 一人ひとりが自分の考えや意見を、自信を持って発言できるような人間関係づくりに務める。

イ 班活動では班長を中心に、互いの考えや意見の違いを認め合い、良いところを褒め合いながら、全ての生徒が話し合いに意欲的に参加できる環境作りに努める。

ウ お互いの違いを認め合ったり、友達の意見を参考に考えを深めたりする活動を通して、学び合う集団づくりをすすめ、思考力・判断力・表現力を高める。

3 単元の目標と評価規準（5時間扱い）

単元の目標	交通・通信網の発達による地域間の結びつきが人々の生活や地域にもたらす変化を、資料より読み取り、理解することができる。
社会的事象への関心・意欲・態度	輸入品マップづくりや地域活性化のための交通網プラン作成などの課題学習に意欲的に参加し、地域間の結びつきから見た日本の地域的特色について関心をもつことができる。
社会的な思考・判断・表現	世界と日本の地域間の結びつき、また、地域ごとの違いと変化を複数の視点からとらえ、根拠をもとに説明することができる。
資料活用の技能	世界と日本の地域間の結びつき、また、地域ごとの違いと変化を諸資料から読み取ることができる。
社会的事象についての知識・理解	交通・通信の発達をもたらす地域間の結びつきや格差発生を理解することができる。

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価項目(方法)
1	1	密接につながる世界と日本 ○時間距離の短縮を資料より読み取る。 ○日本と結びつきの強い地域について、交通・通信網の面からその理由を説明する。	● 交通網の発達による時間距離の短縮について気づかせる。 ● 通信網の発達により、世界がより身近になったことを気づかせる。	○時間距離の短縮を資料から読み取ることができる。 ○日本と結びつきの強い地域について、交通面・通信面の両方から理由を説明することができる。 (ワークシート)
	1 (本時)	○2つの異なる地域と情報交換するために有効な手段について、資料で読み取った根拠をあげて説明する。	●交通・通信網の発達に地域格差があることに気づかせる。	○交通・通信網の発達には地域差があることを複数の資料から読み取り、根拠をあげて説明することができる。 (ワークシート)

2	1	<p>貿易に見る世界と日本の結びつき</p> <p>○外国から輸入されているものを取り上げ、マップを作成する。</p> <p>○日本と世界の貿易による結びつきを変化と共に説明する。</p>	<p>●日常生活で使用している身近な物から、世界と日本の結びつきに気づかせ、興味・関心を高める。</p>	<p>○持参した輸入品の広告やラベルから輸入品マップを作成し、複数の視点で気づきを述べることができる。</p> <p>○日本の貿易品目の変化や主な貿易相手国について、資料をもとに説明することができる。</p> <p>(ワークシート)</p>
3	1	<p>人々に見る世界と日本</p> <p>○観光客や労働者が多く向かう地域の理由について理解させる。</p> <p>○外国から日本への労働者数が増えることについて発表する。</p>	<p>●資料から人々の移動の目的や訪れる国が異なることを読み取り、国々の結びつきの強弱や経済的格差の問題に気づかせる。</p>	<p>○観光客が多く訪れる地域と労働者が多く向かう地域を調べ、その理由を理解することができる。</p> <p>○今後の外国から日本への労働者数は増加することについてどう思うか、根拠をもとに述べるができる。</p> <p>(ワークシート)</p>
4	1	<p>広がる日本の交通と通信網</p> <p>○高速交通網の変化を全国的視野、地域的視野で読み取る。</p> <p>○九州新幹線の開通の利点について考える。</p>	<p>●交通網の発達が特定の地域を活性化させる一方で、地域格差が生まれ、過疎過密の問題へもつながることに気づかせる。</p>	<p>○九州新幹線の開通が、熊本県や我が町に対してどのような利点があるか、複数の視点から述べるができる。</p> <p>○高速交通網の整備状況について、時代ごとの分布図との比較により、全国的・地域的視野から説明することができる。</p> <p>(ワークシート)</p>
5	1	<p>交通がもたらす地域の変化</p> <p>○交通網の発達をもたらす長所と短所を理解する。</p> <p>○地域を活性化させるために整備してほしい交通網を提案する。</p>	<p>●交通網の発達が人々の生活に変化を及ぼすことを理解させた上で、我が町を例に地域活性化のための交通網整備について考えさせ、説明させる。</p>	<p>○複数の資料から交通網の整備による長所や短所を理解できる。</p> <p>○我が町の活性化を図るために、今後整備してほしい交通網を1つ提案し、それを説明することができる。</p> <p>(レポート用紙)</p>

5 本時の学習 (2 / 6 時間)

(1) 目 標

交通・通信網の発達には地域格差があること理解するために複数の資料から読み取り、根拠をあげて説明することができる。

(2) 展 開

過程	時間	学習活動	主な発問と生徒の反応	教師の指導と評価	備考
導入	5分	① 前時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○「世界が小さくなった」と言われますが、何が発達したからですか？ ・交通 ・通信 ○あなたは友達と連絡をとるときにどうしていますか？ ・メール ・携帯電話 	○日常生活の体験から情報のやりとりを実感できるようにする	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【学習課題】 2つの国の中学生とやりとりをする場合、どの情報ツールを選べばよいだろうか。</p> </div>					
展開	35分	② 情報のやりとりをするために1番有効な情報ツールを考える。 ○予想を発表する。 ○資料から読み取る。 ○意見を出し合う。 ○意見を深める。 ○意見を発表する。 ○意見をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○宿題で予想してきたことを発表してください。 ・みんな使っているから携帯電話だと思う。 ・インターネットを使えない地域もあるだろうから手紙だと思う。 ○資料から読み取りをもとに、自分の意見をまとめましょう。 ・タンザニアはインターネットよりも携帯電話の利用者が多い。 ・インターネットは携帯電話より多くの情報を送ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話合いがスムーズに進むように、「話合いの進め方シート」を用意する。 ○班での話合いから友達の意見を参考にしたり自分の考えを深めたりできるようにする。 ○2つの地域の違いを比較できる資料を用意する。 ○それぞれの方法のプラス面、マイナス面を比較しやすいように、資料を用意する。 	ワークシート資料ふせんA3用紙話合いシートマジックタイマー
	5分	③ まとめたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめたことを発表して下さい。 ・タンザニアでは、電気が通っていないので、インターネットは使えませんが、携帯電話は使用できます。だから、携帯電話が有効な手段だと思います。 ・アメリカでは、早く、音声や映像などの情報を得ることができるインターネットが有効な手段だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発表しやすいように、発表の例文を示す。 ○生徒の発表から、情報ツールを選ぶ根拠を整理し、おさえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価】 交通・通信網の発達には地域差があることを複数の資料から読み取り、根拠をあげて説明することができる。</p> </div>	

ま と め	5 分	④ 本時のまとめをする。	○情報ツールを選ぶ際に必要なことは何でしょうか。 ・場所によって使うものを選ぶこと。 ・用途、目的によって使うものを選ぶこと。 ・安全性によって使うものを選ぶこと。	○交通・通信網の発達には地域格差があり、時代がすすむにつれ時間や方法が変化していることから、情報ツールを選ぶ必要があることをおさえる。
-------------	--------	--------------	---	---

6 モデルカリキュラムの位置づけ

情報モラル	道徳、各教科・特別活動 他
a4-1：情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する。	道徳 「メールって…？友達って？」 現代における友達関係のよりよいあり方を考え、心から信頼できる友達を持つように努めようとする態度を育てる。
b4-1：個人の権利(人格権、肖像権など)を尊重する。 b4-2：著作権などの知的財産権を尊重する。	学活 人権学習「携帯電話って便利だけど…」 チェーンメールや掲示板への書き込みがはじめにつながった例を通して、携帯電話の正しい使い方を身につけ、望ましい人間関係を気づこうとする態度を育てる。
c4-1：違法な行為とは何かを知り、違法だとわかった行動は絶対に行わない。 c4-2：情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る。 c4-3：契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する。	社会 「世界との結びつきを強めるフランス」 比較や関連の視点から調べたフランスについて、コンピューターを使ってまとめる。
d4-1：安全性の面から、情報社会の特性を理解する。 d4-2：トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る。	社会 「広がる地域間の結びつき」 交通・通信網の発達には地域格差があることを理解するために複数の資料から読み取り、根拠をあげて説明する。
e4-1：情報の信頼性を吟味できる。 e4-2：自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持って行動できる。	国語 『「社会調査」のうそ』 社会調査の結果と事実のずれに気づき、情報に惑わされてはいけないことを理解する。
f4-1：健康の面に配慮した、情報メディアとのかかわり方を意識し、行動できる。 f4-2：自他の安全面に配慮した、情報メディアとのかかわり方を意識し、行動できる。	学活 性教育「手軽な出会いに潜むもの」 インターネットや携帯電話などがきっかけとなった性犯罪とその背景を知り、性犯罪にまきこまれないための予防的行動を理解する。
g4-1：情報セキュリティの基礎的な知識を身につける。	
h4-1：基本的なセキュリティ対策が立てられる。	

i4 : ネットワークの公共性を意識して行動する。	
---------------------------	--